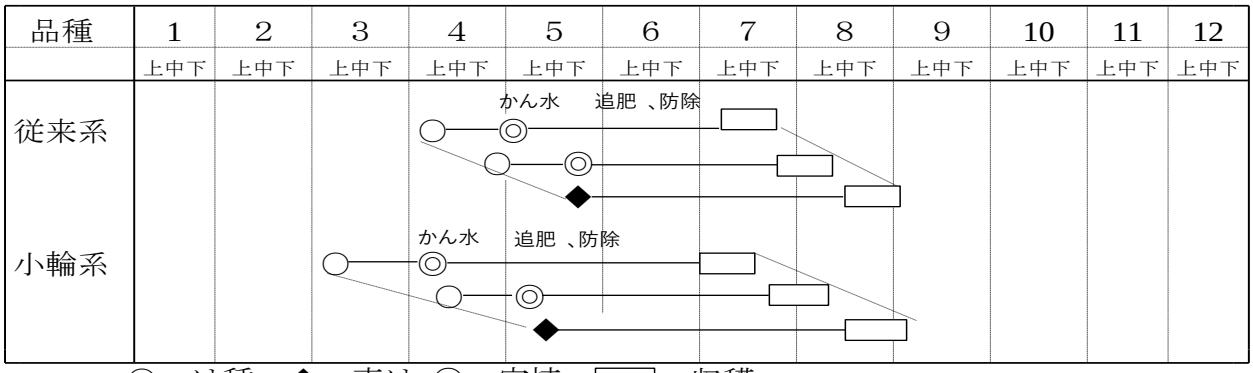
アスター

1 栽培のポイント

☆開花期に合わせて播種時期を設定する。
☆連作を嫌うため、同一ほ場での作付けは５年以上間隔を開ける。
☆排水の良いほ場を選ぶ。

2 作 型(露地栽培)



○：は種、◆：直は ◎：定植、▭：収穫

＊播種が遅くなるほど、草丈が短くなる。
＊品種
従来系：くれない系(中早生～中生)、松本シリーズ(中早生～中生)
小輪系：セレネシリーズ(早生)、ハナシリーズ(中～晩生)、ステラシリーズ(中生)、ネネシリーズ(早生)
その他：あずみシリーズ（八重、中晩生）

3 育 苗

（１）は種
・８月お盆出しを目標とする場合、松本シリーズで４月 20 日から 25 日のは種が適期。
・小輪系、あずみシリーズは松本シリーズより５日程度早めに種をまく必要がある。
・アスターの種は吸水が早く、開封して１年過ぎると発芽率が低下するため、新しい種子を用意する。
・200 穴のセルトレイに培土を詰め、土に十分な吸水をさせる。少し水を切ってから１粒ずつは種し、乾いた培土で種が隠れるくらい覆土をする。アスターは水分が多いと発芽率が低下するため、は種直後にはかん水しない。翌日、覆土の乾き具合を確認しかん水する。
・かん水後、新聞紙(不織布も可)で培土表面を覆い、乾燥しないよう管理する。
・発芽適温は 15～25℃であるので、低温期は発芽まで保温し、また高温では発芽が抑制されるので２５℃を超えないように注意する。
・特に小輪系品種は 25℃以上で発芽率が劣るため、昼間の置き場所に気をつけ高温を避ける。

（２）育苗管理
・３日目くらいから発芽を確認し、徒長しないように早めに新聞紙を取り除く。
・アスターは非常に光線量を必要とするため、充分に光が当たる場所で育苗する。
・根が浅いため、セルトレイの下にたるきを置くなど排水の良い状態にして、かん水の回数を増やすと良い。朝、午後３時頃の１日２回を目安にする。夕方のかん水は夜間の土の温度を下げるので控える。
・育苗中、夜間 10℃以上に保温をするが、４月中旬以降は育苗中に温床が無くても問題ない。昼間は 25℃以下になるように管理する。

4 定植準備

・連作により、高温期のフザリウム菌による立枯病の発生を助長するので、５年以上アスターを作付けしていないほ場を選定する。
・多肥は開花を遅れさせたり、病気になりやすいため、基肥は適切に施用する。
・基肥は３成分で各 1.5kg/a 程度とする。
・土壌 pH は 6.0～7.0 が適するため、苦土石灰等を用いて調整する。

〔施肥例〕　1a 当たり

肥料名	施肥量	N	P	K
完熟堆肥	300kg			
苦土石灰	10kg			
有機化成(8-8-8)	１８kg	1.４４	1.４４	1.４４

・栽植密度　1a 当り栽植本数は 2,100～3,000 本

株間	条間	条数	うね高	通路	植床
12～15cm	12～15cm	４条	15cm	50cm	60～70cm

5 定　植

・は種後 20～30 日、本葉５枚前後の苗姿で定植する。
・定植時に根が傷むと、病気や生育不ぞろいの原因となるため、根を切らないようにセルトレイから抜き取り、植付けは苗の株元を強く抑えない。
・かん水直後はセルの土が崩れ、根が切れやすいため、水分が落ち着いてから定植を行うと良い。
・定植直前に液肥を施すと、その後の生育が順調になる。
・従来系品種は 12cm 角の４～６条植え、小輪系品種は 15cm 角の４条植えとする。

6 栽培管理

（１）かん水
・活着するまでは、水分が不足しないように十分かん水する。
・アスターの根は浅い部分に張るので、地表面が白くなったらかん水するようにし、茎の伸長が始まったらかん水を控えめにするが、乾燥には注意する。

（２）追肥
・着蕾期頃までに、葉色が淡い場合にチッ素成分で 0.5kg/a 追肥する。
・遅い追肥は茎葉が徒長し、開花が遅れるので注意する。

（３）その他
・フラワーネットを設置し、曲がりや倒伏を防止する。
・アスターは倒伏すると花首がすぐに曲がるので、強風が吹いたときは早めに見回り、直す。

7 病害虫防除

・収穫期頃にさび病が下葉から発生する。上部まで進展すると商品価値が著しく低下するため、早期に防除を行う。
・害虫はアブラムシ類、アザミウマ類、ウリハムシ、ヨトウムシ類が発生する。
・農薬使用時は「アスター」あるいは「花き類・観葉植物」で登録されている農薬を使用する。

8 収　穫

・従来系品種は３～４輪開花したとき、小輪系は３割の花が開花したときから収穫する。
・夏は葉が痛みやすいので、露やムレに注意し、早朝か夕方に収穫する。
・切り花を重ねて長時間置かないようにする。
・水あげは、下葉を 20cm ほど取り除き、浅水の入ったバケツに真っ直ぐに立てて入れる。切り花を傾けて水あげすると花首が曲がるので注意する。